



紫雲児の心

「respect(リスペクト)」から始まる、心地よい学校づくり 校長 本保 逸彦

◎5月7日(木)全校朝会の話より

最近、日常生活の中で「〇〇さんをリスペクトしている」という言葉を耳にすることが増えました。日本語では「その人がすごいから尊敬する」という意味で使われることが多いように思います。英語の“respect”を辞書で調べると、「人やその性質を尊敬する」という意味が紹介されています。

○ *I respect his sincerity.* (彼の誠実さを尊敬する)

○ *We respect him as a great leader.* (私たちは彼をリーダーとして尊敬している)

また、似た言葉として、“esteem” (好意を含んだ敬意)、“admire” (憧れを含む強い敬意)といった語もあります。日本語で使う「リスペクト」は、これらに近いニュアンスを含むことも多いかもしれません。

しかし、英語の“respect”には、もう一つとても大切な意味があります。

○ *He has respect for the feelings of others.* (彼は他人の気持ちを尊重する)

○ *We must have respect for rules.* (規則を尊重しなければならない)

○ *We will respect your wishes.* (あなたの希望を尊重します)

ここでの“respect”は、「優れているから尊重する」のではありません。気持ちや希望、規則には上下も優劣もなく、比べるものでもありません。「自分とは違う価値観や考え方を大切なものとして認める」という姿勢こそが、英語の“respect”の根底にある考え方です。文化や習慣が違って、誰かと自分が違っていても、その違いを理由に否定したり軽んじたりしない。

この考え方が紫雲寺中学校に根づいたら、どんな学校になるでしょうか。きっと、お互いを大切にしようという空気が広がり、笑顔があふれ、「明日も来たい」と思える学校に近づいていくはずです。最後に、覚えておいてほしい言葉を紹介します。

～ 大切にしてほしい2つの“respect”～

1. *respect oneself.* (自分を尊重する)

2. *respect others.* (他者を尊重する)

「リスペクト」という言葉は、他の人に向けて使われることが多いですが、まず大切なのは自分自身を大切にすることです。そして、自分を大切にすると同じように、周りの人の存在や考え方も大切にしてほしいと思います。お互いの違いを認め合い、自分も他者も大切にすること。そこから始まるのが、本当の“respect”です。

◎自分を大切にすること

「自分を大切にすること」とは、心と身体を健康を守ることです。このことは、物を大切に扱う場面を思い浮かべると、より理解しやすくなります。大切な物であれば、汚れを落とし、傷がつかないように丁寧に扱い、必要に応じて手入れをします。つまり、大切な物を手入れするように、自分自身の状態にもそっと目を向けることが大切だと思います。

お子さんは、しっかり眠れているでしょうか。疲れたときに休むことができているでしょうか。心が少ししんどいとき、その気持ちに気づいてあげられると、安心につながります。また、身の回りの物を整えることは、生活を整え、自分を大切にすることにもつながります。

心と身体、そして生活の環境を丁寧に扱うこと。その小さな積み重ねが、子どもたちが自分を大切にできる力を育んでいく土台になります。ご家庭でも、あたたかく見守りながら、ぜひ一緒に振り返る時間をもっといただければと思います。